

社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会

支部活動推進計画

一縁ヶ丘支部一

モデル支部指定年度：平成26年度～平成29年度

人に優しくいきいきと 笑顔あふれるまちづくり



モデル支部推進事業

ふじみ野市地域福祉活動計画（平成25年度～29年度）
重点項目1「モデル支部の設置による支部活動推進計画の策定」

もくじ

| | | |
|------------------------|-------|---|
| 緑ヶ丘支部の状況 | ----- | 1 |
| 計画策定経過、今後の予定 | ----- | 1 |
| 地域の状況（地区懇談会より） | ----- | 2 |
| 支部マップ | ----- | 4 |
| 地域の主な困りごと | ----- | 6 |
| 地域の主な困りごとを解決するうえでのポイント | ----- | 6 |
| 基本方針 | ----- | 7 |
| 支部活動推進計画 | ----- | 7 |

モデル支部推進事業

ふじみ野市社会福祉協議会では、町会・自治会・町内会を単位に、現在54か所の社協支部を設置し、見守り活動やふれあい・いきいきサロン、世代間交流事業、新入学児童お祝い事業、社協会員募集や共同募金運動等、様々な小地域福祉活動に取り組んでいます。

しかし、高齢化率が高い地域や子育て世代の多い地域、世帯数や人口、マンションや新興住宅地等の住宅の形態、区画整理地や商業地、市街化調整区域など、地域によって生活環境が異なることから、その地域（支部）が抱える福祉課題も異なっています。

この事業は、これらの課題に対応するため、四つのモデル支部を指定し、「支部活動推進計画」を策定することで、その地域性に対応したよりきめ細かい小地域福祉活動を強化・推進するとともに、モデル支部ごとに取り組まれた活動や成果を評価・検証し、市内全域において支部活動の活性化を図ることを目的としています。

〔モデル支部〕

滝支部、塙支部、緑ヶ丘支部、みほの支部

〔指定期間〕

平成26年4月16日～平成30年3月31日

縁ヶ丘支部の状況（平成25年度）

1 支部長 池田正一

2 福祉委員16人（民生委員・児童委員2人含む）

3 地域の状況（平成26年5月1現在）

世帯数 559世帯

人口 1,499人

年少人口率 16.19%

高齢化率 25.99%

4 支部の主な活動

- ふれあい・いきいきサロン、世代間交流事業（年8回、延べ144人の参加がある。世代間交流事業では、ウォーキングや日帰りバス旅行を企画）
- 社協会員増強運動、日赤社員増強運動、赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい運動の実施



計画策定経過、今後の予定

| 年月日 | 内容 |
|-------------|-------------------|
| 平成26年 4月16日 | モデル支部指定 |
| 6月11日 | 4か所のモデル支部による支部長会議 |
| 7月13日 | 第1回地区懇談会 |
| 11月27日 | 縁ヶ丘支部福祉委員会議 |
| 平成27年 2月 3日 | 第2回地区懇談会 |
| 3月16日 | 計画の策定 |
| 平成27・28年度 | 計画の実施 |
| 平成29年度 | 計画の評価・検証 |

地域の状況（地区懇談会より）

これらは、地区懇談会で住民から寄せられた「地域の状況」を分類したものです。これから地域の課題とその解決策を整理し、支部活動推進計画にまとめました。

| 大区分 | 中区分 | 小区分（参加者からの 意見） |
|-------------------|----------------------------|---|
| 高齢化の進行に伴う心配や不安 | 高齢化、一人暮らしの増加による心配や不安 | 高齢世帯が増えている |
| | 夫婦二人、一人暮らし世帯との日常的なつきあいの希薄さ | どこに一人暮らし高齢者がいるのか分からぬ 男性の高齢者が閉じこもりがち |
| | 身の回りのことを頼れる人手や交通手段等の心配 | 近い将来、通院や買い物などが難しくなる 少数用の食料（調味料、野菜）の入手が必要 |
| | 寄りあえる場、たまり場の不足 | 常に開放された高齢者のたまり場がない |
| 子どもの安全に関する心配 | 安全な子どもの遊び場や機会がない | 夕方遅い時間まで外で遊ぶ子どもが多い |
| 世代間の交流や理解の不足 | 世代間の交流や理解の不足 | 新しい住民の増加によって若い世代との交流がない |
| 地域活動（福祉など）の担い手の不足 | 地域活動へ参画する人が減少 | 町会、自治会に未加入の方がいる |
| | | 福祉委員、民生委員が交代できない（委員が高齢化） |
| その他 | ゴミの分別ができない | ゴミの分別ができない人がいる |
| | 空き巣や詐欺被害が多い | 空き巣の被害が多い |
| | 空き地、空き家の増加 | 空き地、空き家の増加 |
| | 家人が留守の際の高齢者や子どもの安全 | 留守にするときに高齢者や子どもの見守り |

地区懇談会とは？

地域での福祉に関する困りごとやその解決策などを話し合うために行なったもので、町会・自治会の役員、民生委員・児童委員、子供会、いきいきクラブ、福祉施設など、多くの住民に参加していただきました。

全ての意見)

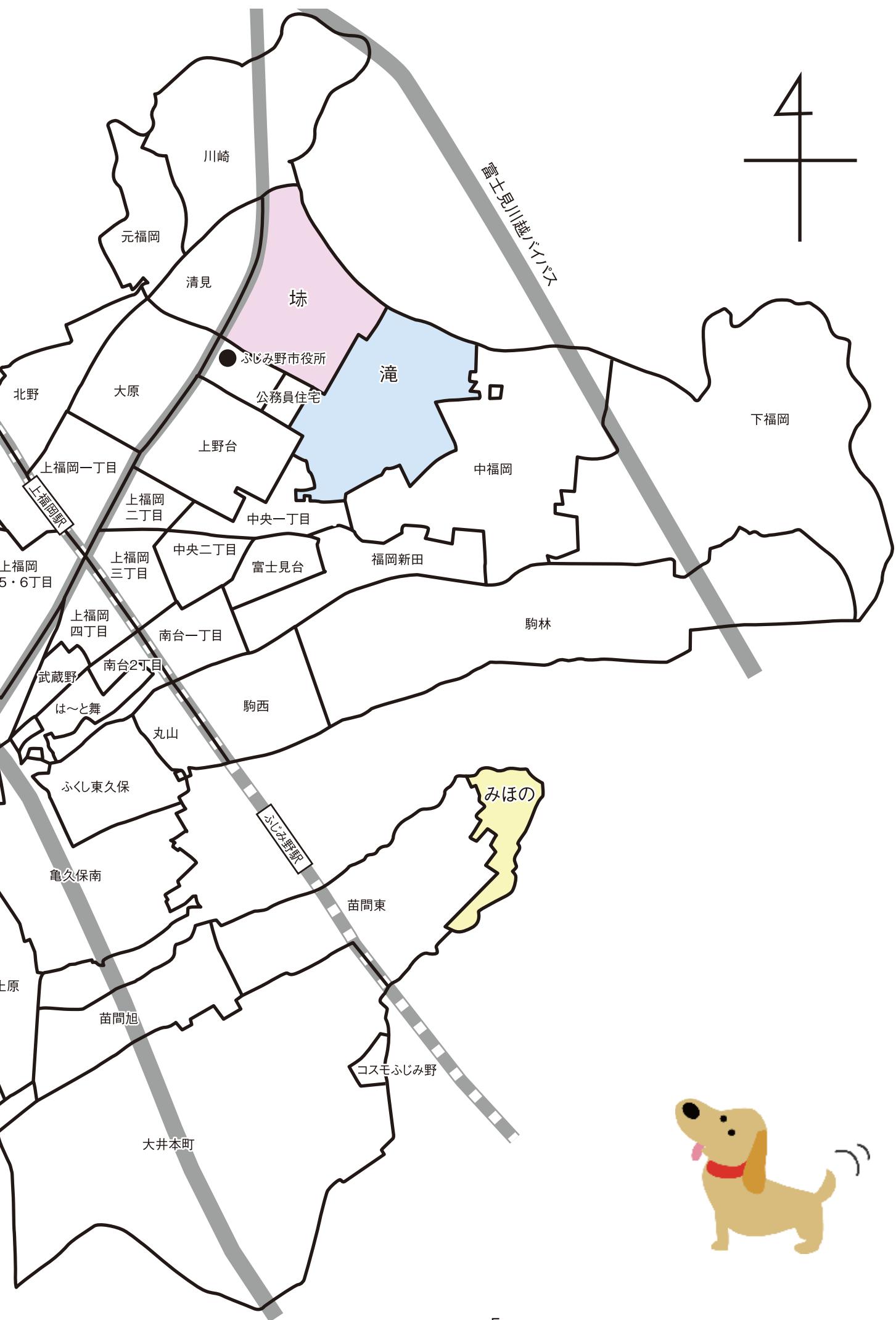
| | | |
|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 一人暮らし高齢者が増えて いる | 安否が心配 | |
| 一人暮らしで没交渉の人が いる | お隣と没交渉の人がいる | 住民同士のつながりが希薄 |
| 男性の参加者が少ない | 男性が地域に出るきっかけがない | |
| 高齢者の買い物が心配 | 日中一人暮らしの高齢者の一人歩 きは危険で心配 | 体力・気力の衰えを自覚しているひと が増加（→地域の活力低下） |
| | | |
| ゲームセンターが高齢者の たまり場になっている | 大型スーパーが近くにあって不特 定多数の人が出入りする | |
| 子どもを道路で遊ばせるル ールが不徹底（迷惑、危険） | 子どもが自由に遊ぶ場がない | 子供会の会員が減少傾向にある |
| 高齢者と子育て世代の交流 の場がない | 若い人が多くなり話ができない | |
| 町会の行事に参加する人が 限られる | サロンの参加者が若くない（若返 りが必要） | 世代交代がスムーズにいっていない。 |
| | | |
| ゴミ出しのルールが守られ ていない | 大通りに面した道路にゴミが常に 置かれている | |
| オレオレ詐欺の電話が多い | | |
| 空き地への若い人の不法投 棄がある | ほったらしの空き家が多い（10 件以上） | |
| | | |

ふじみ野市社会福祉協議会 支部マップ

(平成27年3月1日現在)



4



地域の主な困りごと

地区懇談会の声から、地域の主な困りごととその解決のためのポイントを整理しました。

住民の高齢化が進み、心配ごとや不安が広がっている

- 高齢者が安心して寄り合える場がない
- 近所付き合いが希薄になってお互いの様子が分からぬ
- 買い物や通院などの外出が難しい高齢者が増えている



子どもが安全に遊べる場や機会がない

福祉活動の担い手が増えない

- 地域活動に参加する人が減っている
- 地域の活動を担う人材の世代交代が円滑に行えない

「地区懇談会での意見」より

地域の主な困りごとを解決するうえでのポイント

住民同士が交流し合える機会や場を

どう作るか

拡充する必要がある福祉活動の担い手をどう確保するか

基本方針

人に優しくいきいきと 笑顔あふれるまちづくり

支部活動推進計画

◎重点事業



できることからやってみよう！



「拠点を活かしたサロン活動の充実、強化」

地域の活動拠点を活用して、ふれあい・いきいきサロン(以下「サロン」)の充実を図ります。



〔具体的な取組み〕

サロン活動の充実、強化（平成26年度年間6回開催）

| 平成27年度 | 平成28年度 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・サロン活動の内容の検討・充実（テーマ、方法、拠点など） お茶飲み会や転倒予防体操、ウォーキング、囲碁、将棋、トランプ等に加えて新しい内容の検討。（例：自宅を開放したミニサロン、趣味を活かしたサロン、空き家や空き店舗を活用したサロン、おしゃべりサロン、コミュニティサロン）・サロンの月2回開催 | <ul style="list-style-type: none">・ミニサロンの実施・サロン活動の内容の検討・充実・サロンの回数を増やす |

◎全モデル支部での共通重点事業

「地域福祉活動の基盤強化」

地域の福祉課題解決のための活動基盤を強化するため、新たな担い手の確保、福祉情報の発信などの取組みを行います。



1 活動者の登録の仕組みづくり

| 平成27年度 | 平成28年度 |
|---|------------------|
| 活動者バンク（仮称）の実施に向けた準備 例：「お助け隊」「お役に立ち隊」の結成等 | 活動者バンク（仮称）の実施、運営 |

2 地域福祉活動者への参加意向の把握

| 平成27年度 | 平成28年度 |
|------------------------|--------|
| アンケート調査の実施（新たな協力者への要請） | — |

3 福祉情報などの発信

| 平成27年度 | 平成28年度 |
|---|---|
| 支部だよりの充実 (年間6回発行、内容の検討／例：サロン情報や活動者バンク、高齢者向情報、住民が毎回登場するなどの連載記事の掲載等) | 支部だよりの充実 (毎月1回発行、内容の検討／例：サロン情報や活動者バンク、高齢者向情報、住民が毎回登場するなどの連載記事の掲載等) |

4 財源の捻出

| 平成27年度 | 平成28年度 |
|----------------------------|--------|
| ・ 新規会員募集の実施 ・ 募金活動の継続実施 | 同左 |

◎既存事業の充実

活動者バンク（仮称）の取組みなどを通じて把握できるニーズや人材の状況などを踏まえて、既存の諸事業の充実強化を図ります。



1 見守り活動（福寿草配付部数22）

| 平成27年度 | 平成28年度 |
|-----------------------------|--------|
| 福寿草配布による見守り活動に加えて、見守りチームの結成 | 同左 |

2 世代間交流（年間約2回開催）

| 平成27年度 | 平成28年度 |
|---|--------|
| 継続実施及び内容の検討・子供会やいきいきクラブとの連携強化 例：子どもが参加する「火の用心」活動 | 同左 |

3 新入学児童お祝い事業

| 平成27年度 | 平成28年度 |
|-----------|---------|
| イベント開催の検討 | イベントの実施 |

4 社協会員募集、募金活動等（町会の協力により実施）

| 平成27年度 | 平成28年度 |
|----------------------------|--------|
| ・ 新規会員募集の実施 ・ 募金活動の継続実施 | 同左 |



発行日 平成27年3月

発行 社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会

[本部・上福岡支所]

〒356-0011

埼玉県ふじみ野市福岡 1-1-1
ふじみ野市役所第3庁舎
TEL 049-264-7212 (代表)
FAX 049-264-9440
✉ info@fujimino-shakyo.or.jp

[大井支所]

〒356-0058

埼玉県ふじみ野市大井中央 2-2-1
大井総合福祉センター4階
TEL 049-266-1981 (代表)
FAX 049-266-1907
✉ ohishisho@fujimino-shakyo.or.jp